

福島県文化財調査報告書 第560集

福島県内遺跡分布調査報告 29

2022年11月

福島県教育委員会

福島県内遺跡分布調査報告 29

序 文

福島県教育委員会では、開発事業等が行われる前に分布調査及び試掘・確認調査を実施し、関係機関との協議をすることにより、埋蔵文化財の保護に努めています。

本報告書は、令和3年度に実施した4市7町3村における8事業に関連する分布調査及び試掘・確認調査、平成25・26・29年度に実施し一部未報告となっていた2町1事業に関連する分布調査結果をまとめたものです。

試掘・確認調査は、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)建設予定地、只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)予定地、丸森いわき幹線新設工事予定地及び国道288号整備事業予定地において実施しました。その結果、埋蔵文化財を確認した2か所を新たに埋蔵文化財包蔵地として周知し、調査成果を埋蔵文化財保護のための協議資料とすることができました。

この報告書が、埋蔵文化財保護のための資料にとどまらず、地域の歴史を解明するための基礎資料となり、広く県民の皆様に御活用いただければ幸いです。

最後に、この調査に御協力いただいた当該市町村教育委員会をはじめとする関係機関、関係各位に深く感謝の意を表します。

令和4年11月

福島県教育委員会

教育長 大沼 博文

緒 言









- 1 本書は、令和3年度に実施した主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)、只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)、丸森いわき幹線及び国道288号整備事業の各事業予定地内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地(試掘調査により遺跡の存否を確認する地点)の試掘・確認調査、一級河川桜川筋広域河川改修事業、東北自動車道原瀬川橋床版取替工事、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地)、(仮称)大滝山風力発電事業の分布調査、並びに平成29年度に実施した地域高規格道路(会津縦貫南道路)の分布調査の報告書である。
- 2 この調査は、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助を受け福島県教育委員会が実施した。
- 3 福島県教育委員会は、調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託した。
- 4 福島県教育委員会は、この調査にあたり下記の職員を配置した。
専門文化財主査 櫻田 克史
文化財主査 篠田 有希
- 5 公益財団法人福島県文化振興財団は、下記の職員を配置して調査を実施した。
専門文化財主査 國井 秀紀
- 6 本書は、福島県教育庁文化財課職員及び公益財団法人福島県文化振興財団(遺跡調査部県内遺跡分布調査担当)の職員が執筆した。
- 7 調査にあたっては、地元地権者・地権者会・行政区長をはじめ下記の機関に多くの協力をいただいた。
いわき市教育委員会 金山町教育委員会 相馬市教育委員会 飯館村教育委員会 川俣町教育委員会
三春町教育委員会 大熊町教育委員会 二本松市教育委員会 鏡石町教育委員会 玉川村教育委員会
矢吹町教育委員会 郡山市教育委員会 下郷町教育委員会 南会津町教育委員会
福島県土木部(いわき建設事務所 会津若松建設事務所 相双建設事務所 県中建設事務所)
国土交通省東北地方整備局(福島河川国道事務所 郡山国道事務所) 環境省福島地方環境事務所
東北電力ネットワーク株式会社 JR東日本エネルギー開発株式会社 林興業株式会社
滝谷建設工業株式会社
- 8 事業名称の長いものは、一部省略した表現を用いた。
- 9 本書に使用した調査記録は、福島県教育委員会が保管している。

用 例

1 本書における用例は次のとおりである。

- (1) 周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/25,000の地形図(会津横田・夜ノ森・浪江・郡山・三春・岩代本宮・母畑・山湯・関都・磐梯熱海)及び1/50,000の地形図(小名浜・保原・相馬中村・川俣・郡山・須賀川・田島)を、事業の位置図は、国土交通省国土地理院発行縮尺1/200,000の地形図(新潟・日光・福島)を複製したものを使用している。
- (2) トレンチ配置図は、各事業主体作製の縮尺1/2,000の地形図を基とした。

2 本書第2章における周知の埋蔵文化財包蔵地、埋蔵文化財包蔵推定地及びトレンチ配置図の用例は次のとおりである。

- (1) : 保存協議を要すると判断した範囲
- (2) : 未試掘範囲
- (3) : 未確定範囲
- (4) : 遺構・遺物が確認できなかった範囲
- (5) : 遺構・遺物が確認できたトレンチ
- (6) : 遺構・遺物が確認できなかったトレンチ
- (7) : 工事予定範囲
- (8) : 周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲
- (9) : 分布調査による埋蔵文化財包蔵推定地の範囲

3 埋蔵文化財包蔵推定地の名称は便宜上アルファベットの「B」と算用数字を組合せて表記するが、試掘調査によって遺跡であることが確定すれば所在地の字名や地名をとり、新たに遺跡名称を付している。

4 各遺跡の呼び方は、『日本地名大辞典7福島県』(角川書店)収録の「小字一覧」にならったが、通称が定着しているときは、それに従った。

5 遺構図の用例は次のとおりである。

- (1) 平面図の縮尺は、基本的に各挿図版の右下(スケール右側)に記した。
- (2) 検出した遺構は、網点で表示した。
- (3) 土色の判定に際しては、『新版標準土色帖』(日本色研事業株式会社)を用いた。

6 本書で使用した略号は、次のとおりである。

T	: トレンチ	L	: 遺構外堆積土	ℓ	: 遺構内堆積土	SI	: 堅穴住居跡
SK	: 土 坑	SD	: 溝 跡	P	: 小 穴	IWK	: いわき市
KY	: 金 山 町	SM	: 相 馬 市	IT	: 飯 館 村	KM	: 川 俣 町
CY	: 郡 山 市	MH	: 三 春 町	NH	: 二 本 松 市	KI	: 鏡 石 町
TG	: 玉 川 村	YB	: 矢 吹 町	MA	: 南 会 津 町	CG	: 下 郷 町

目 次

第1章 県内遺跡分布調査の概要	1
第2章 試掘・確認調査	4
第1節 主要地方道いわき上三坂小野線（小名浜道路）建設予定地	4
1 いわき市の遺跡	
IWK-B5 (5) IWK-B6 (6) IWK-B7 [添野町大町遺跡] (6)	
第2節 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）予定地	7
1 金山町の遺跡	
高根沢館跡・KY-B4 (8) KY-B7 [中西部遺跡] (10)	
第3節 丸森いわき幹線新設工事予定地	15
1 相馬市の遺跡	
SM-KR. B1 (16)	
2 飯館村の遺跡	
IT-KR. B1 (18)	
3 川俣町の遺跡	
KM-KR. B1 (19) KM-KR. B2 (20)	
第4節 国道288号整備事業予定地	21
1 大熊町の遺跡	
井戸神沢遺跡 (21)	
第3章 分布調査	23
第1節 一級河川桜川筋広域河川改修事業予定地	23
第2節 東北自動車道原瀬川橋床版取替工事予定地	25
第3節 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）予定地	27
第4節 （仮称）大滝山風力発電事業予定地	30
第5節 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地	34
第4章 総 括	36
報告書抄録	41

挿図・表・写真目次

〔挿 図〕

図1	県内道筋分布調査位置	1
図2	主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)位置	4
図3	いわき市の道路	4
図4	1WK-B5-B7トレンチ配置	5
図5	1WK-B7橋出遺構、土層	7
図6	只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)位置	8
図7	金山町の道路	8
図8	高沢沢船路-KY-B4トレンチ配置	9
図9	KY-B7トレンチ配置	11
図10	KY-B7土層、橋出遺構(1)	12
図11	KY-B7橋出遺構(2)	13
図12	KY-B7出土遺物	14
図13	丸森いわき幹線位置	16
図14	相馬市の道路	17
図15	SM-KR、B1トレンチ配置	17
図16	飯館村の道路	18
図17	1T-KR、B1トレンチ配置	18
図18	川俣町の道路	19
図19	KM-KR、B1トレンチ配置	20

〔表〕

表1	主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路) 試掘・確認調査道路一覧	2・3
表2	只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区) 試掘・確認調査道路一覧	2・3
表3	丸森いわき幹線試掘・確認調査道路一覧	2・3
表4	国道288号整備事業試掘・確認調査道路一覧	2・3
表5	1WK-B7トレンチ一覧	6
表6	KY-B7トレンチ一覧	10
表7	一級河川板川筋広域河川改修事業関連道路一覧	23・24
表8	東北自動車道原瀬川橋床取替工事関連道路一覧	26
表9	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地)関連 道路一覧	28・29

〔写 真〕

1	1WK-B5-B7遠景(西から)	5
2	1WK-B7調査区全景(南から)	6
3	1WK-B7 1T土塊断面(北から)	6
4	1WK-B7 3T土塊断面(東から)	6
5	KY-B7全景(北から)	10
6	KY-B7 3T土塊断面(南から)	10
7	KY-B7 6T土塊橋出(北西から)	10
8	KY-B7 9T全景(南から)	13
9	KY-B7 10T住居跡橋出(南西から)	13
10	KY-B7 11T全景(南から)	13
11	KY-B7 12T土塊断面(南から)	13
12	石舟遊路・沖田遊路現況(西から)	24
13	CY-SG、B1現況(東から)	24
14	CY-SG、B2現況(南東から)	24
15	CY-SG、B3現況(東から)	24
16	CY-SG、B4現況(北西から)	25
17	CY-SG、B5現況(東から)	25
18	CY-SG、B6現況(北から)	25
19	MH-SG、B1現況(北から)	25
20	MH-SG、B2現況(北西から)	25
21	土俵木後田遊路現況(東から)	25
22	NH-TH、B1現況(北西から)	27

図20	KM-KR、B2トレンチ配置	21
図21	国道288号整備事業位置	22
図22	井戸神沢遊路トレンチ配置	22
図23	一級河川板川筋広域河川改修事業位置	23
図24	一級河川板川筋広域河川改修事業予定地と道路・ 遊路推定地	24
図25	東北自動車道原瀬川橋床取替工事位置	26
図26	原瀬川橋床取替工事予定地と道路・遊路推定地	26
図27	阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地)位置	27
図28	遊水地予定地と道路・遊路推定地	28
図29	(仮称)大滝山風力発電事業位置	30
図30	(仮称)大滝山風力発電事業予定地と道路・遊路推定地(1)	31
図31	(仮称)大滝山風力発電事業予定地と道路・遊路推定地(2)	32
図32	(仮称)大滝山風力発電事業予定地と道路・遊路推定地(3)	32
図33	地域高規格道路(会津縦貫南道路)位置	35
図34	地域高規格道路(会津縦貫南道路)予定地と 道路・遊路推定	35
図35	添野町大町遊路の範囲	39
図36	中西部道路の範囲	40

表10	(仮称)大滝山風力発電事業関連道路一覧	31
表11	地域高規格道路(会津縦貫南道路)関連道路一覧	35
表12	主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)関連 試掘・確認調査対象道路成果一覧(いわき市)	36
表13	只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)関連 試掘・確認調査対象道路成果一覧(金山町)	37
表14	丸森いわき幹線関連試掘・確認調査対象道路成果一覧 (相馬市・飯館村・川俣町・二本松市・田村市)	38
表15	国道288号整備事業関連試掘・確認調査対象道路 成果一覧(大槻町)	38
表16	埋蔵文化財包蔵地(新規・変更)一覧	39

23	NH-TH、B2現況(東から)	27
24	正和板碑現況(南から)	29
25	KI-Y.S、B1北部現況(東から)	29
26	KI-Y.S、B1南部現況(南から)	29
27	TG-Y.S、B1現況(北から)	29
28	小松船路現況(南から)	29
29	川原供養塔現況(南から)	29
30	後原遊路現況(北から)	30
31	YB-Y.S、B1現況(南から)	30
32	CY-F.R、B1現況(西から)	33
33	CY-F.R、B2現況(南東から)	33
34	中山城跡現況(南から)	33
35	竹ノ内・橋ノ入・瀬所遊路現況(東から)	33
36	並柳遊路現況(東から)	33
37	熱海遊路現況(東から)	33
38	CY-F.R、B3現況(北東から)	33
39	切込遊路現況(南西から)	33
40	CY-F.R、B4現況(東から)	34
41	蟹沢遊路現況(北東から)	34
42	増船路現況(東から)	34
43	CY-F.R、B6現況(西から)	34
44	MA-B1中央部現況(南から)	34

第1章 県内遺跡分布調査の概要

令和3年度は、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)、只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)、丸森いわき幹線及び国道288号整備事業の4事業(2市3町1村)についての試掘・確認調査並びに一級河川桜川筋広域河川改修事業、東北自動車道原瀬川橋床版取替工事、阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地)及び(仮称)大滝山風力発電事業の4事業(2市4町2村)の分布調査を公益財団法人福島県文化振興財団に委託して実施した。

[主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)]

いわき市における計画路線内の3箇所、計3,900㎡の埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘調査を実施した。その結果、IWK-B7[添野町大町遺跡]で遺構・遺物を確認した350㎡について保存協議を要する範囲とした。

なお、これをもって、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)事業の試掘・確認調査はすべて終了した。

[只見川河川整備事業(片門地区～滝沢地区)]

金山町における計画地内の3箇所、計28,500㎡の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘・確認調査を実施した。その結果、KY-B7[中西部遺跡]で遺構・遺物を確認した12,000㎡について保存協議を要する範囲とした。

[丸森いわき幹線]

相馬市・飯館村・川俣町における計画地内の4箇所、計1,165㎡の埋蔵文化財包蔵推定地を対象に試掘調査を実施した。保存対象箇所は確認できなかった。残りの周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所については、工事計画变更に伴い、試掘調査対象外となった。これをもって、本事業の試掘・確認調査はすべて終了した。

[国道288号整備事業]

大熊町における計画地内の1箇所、850㎡の周知の埋蔵文化財包蔵地を対象に確認調査を実施した。保存対象箇所は確認できなかった。

[分布調査]

一級河川桜川筋広域河川改修事業の郡山市～三春町における計画地内7.7km、面積77,000㎡について分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所と埋蔵文化財包蔵推定地8箇所を新たに確認した。

東北自動車道原瀬川橋床版取替工事の二本松市～大玉村における計画地内の面積29,200㎡について分布調査を実施し、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を確認した。

阿武隈川上流大規模災害関連事業(遊水地)の鏡石町～矢吹町における計画地内の面積



図1 県内遺跡分布調査位置

表1-1 主要地方道いわき上三坂小野線（小名浜道路）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内 面積 (㎡)	対象面積 (㎡)	令和3年度調査 トレンチ		
						本数	掘削面積 (㎡)	割合
IWK-B5	いわき市活野町古蒔	山林	R 3.4.19～4.23	2,200	2,200	10	190	8.6%
IWK-B6	いわき市活野町大町	山林	R 3.4.19～4.23	1,200	1,200	8	115	9.5%
IWK-B7	いわき市活野町大町	山林	R 3.4.19～4.23	500	500	5	82	16.4%
小名浜道路（いわき市） 合計（1）				3,900	3,900	23	387	9.9%

表2-1 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内 面積 (㎡)	対象面積 (㎡)	令和3年度調査 トレンチ		
						本数	掘削面積 (㎡)	割合
高根沢開跡・ KY-B4	金山町大字横田字高根沢	畑地・山林	R 3.5.26～6.2	6,900	6,900	14	217	3.1%
KY-B7	金山町大字大塚字中西部	山林・畑地	R 3.5.13～5.28	21,600	21,600	43	792	3.7%
只見川河川整備事業（金山町） 合計（2）				28,500	28,500	57	1,009	3.5%

表3-1 丸森いわき幹線試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内 面積 (㎡)	対象面積 (㎡)	令和3年度調査 トレンチ		
						本数	掘削面積 (㎡)	割合
SM-KR.B1	相馬市玉野字中平	山林	R 3.6.24～6.25	665	665	3	15.0	2.3%
IT-KR.B1	飯館村在須字虎捕	山林	R 3.6.22～6.22	200	200	2	4.0	2.0%
KM-KR.B1	川俣町小綱木字東野馬畑	荒地	R 3.7.1～7.1	170	170	2	4.0	2.4%
KM-KR.B2	川俣町山木屋字大和田山	山林	R 3.6.29～6.29	130	130	2	4.0	3.1%
東北東京間連絡事業（相馬市・飯館村・川俣町） 合計（3）				1,165	1,165	9	27.0	2.3%

表4-1 国道288号整備事業試掘・確認調査遺跡一覧

遺跡名	所在地	立地	調査期間	工区内 面積 (㎡)	対象面積 (㎡)	令和3年度調査 トレンチ		
						本数	掘削面積 (㎡)	割合
井戸神沢遺跡	大熊町大字野上字湯の神	荒地	R 3.7.6～7.7	850	850	6	41.75	4.9%
国道288号整備事業（大熊町） 合計（4）				850	850	6	41.75	4.9%
令和3年度試掘・確認調査遺跡 総合計(1)+(2)+(3)+(4)				34,415	34,415	95	1,465	4.3%

【注】：表中のトレンチ内の%は、今年度の試掘・確認調査対象面積に対するトレンチ掘削面積の割合を示す。

3,500,000㎡について分布調査実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所と埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を確認した。

（仮称）大滝山風力発電事業の郡山市～猪苗代町における面積767,000㎡について分布調査を実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地9箇所、埋蔵文化財包蔵推定地6箇所を確認した。

表1-2 主要地方道いわき上三坂小野線（小名浜道路）試掘・確認調査遺跡一覧

道路名	令和3年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
IWK-B5	なし	縄文土器・石器	保存なし	0	0	試掘調査終了
IWK-B6	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了
IWK-B7	土坑・溝跡・小穴	かわらけ・鉄滓	保存	350	0	添野町大町遺跡として登録 試掘調査終了
小名浜道路（いわき市） 合計（1）				350	0	

表2-2 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）試掘・確認調査遺跡一覧

道路名	令和3年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
高根沢船跡・ KY-B4	なし	なし	保存なし	0	0	試掘・確認調査調査終了
KY-B7	住居跡・土坑・小穴・ 遺物包含層	縄文土器・弥生土器・ 石器・石製品	保存	12000	0	中西部遺跡として登録 試掘調査終了
只見川河川整備事業（金山町） 合計（2）				12000	0	

表3-2 丸森いわき幹線試掘・確認調査遺跡一覧

道路名	令和3年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
SM-KR.B1	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了
IT-KR.B1	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了
KM-KR.B1	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了
KM-KR.B2	なし	なし	保存なし	0	0	試掘調査終了
東北東京間連絡系線事業（相馬市・飯館村・川俣町） 合計（3）				0	0	

表4-2 国道288号整備事業事業試掘・確認調査遺跡一覧

道路名	令和3年度調査結果		取扱い	保存面積 (㎡)	未試掘面積 (㎡)	備考
	遺構	遺物				
井戸神沢遺跡	なし	縄文土器・鉄滓	保存なし	0	0	確認調査終了
国道288号整備事業（大槻町） 合計（4）				0	0	
令和3年度試掘・確認調査遺跡 総合計（1）+（2）+（3）+（4）				12,350	0	

この他、平成29年度に実施した地域高規格道路（会津縦貫南道路）の分布調査の報告を行う。この調査は、下郷町～南会津町（下郷田島バイパス）における34,000㎡について実施した。その結果、埋蔵文化財包蔵想定地1箇所を確認した。

第2章 試掘・確認調査

第1節 主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)建設予定地

主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)は、重要港湾小名浜港と常磐自動車道を全長8.3kmの自動車専用道路で結び、広域物流ネットワークの強化によって避難地域の復興を支援するとともに、小名浜湾背後の整備事業と連携し、当地域の産業・観光復興の拠点化を支援する、ふくしま復興再生道路として整備されることとなった。現在、福島県土木部いわき建設事務所が事業を進めている。



図2 主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)位置

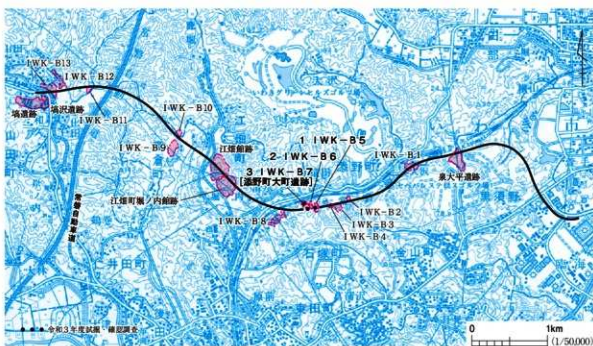


図3 いわき市の道跡

本事業に係る分布調査は、平成25年に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所、新規の埋蔵文化財包蔵推定地13箇所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。その後、平成27年度に周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所、平成29年度に周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所と埋蔵文化財包蔵推定地1箇所、平成30年度に周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所と埋蔵文化財包蔵推定地1箇所、令和元年度に埋蔵文化財包蔵推定地4箇所を試掘確認調査を実施した（『福島県内遺跡分布調査報告書23』、『同25』、『同26』、『同27』）。

本年度は、いわき市添野町地区における埋蔵文化財包蔵推定地3箇所の試掘調査を実施した。

1 いわき市の遺跡

IWK-B5

所在地 いわき市添野町古防

調査対象面積 2,200㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 縄土土器・石器



1 IWK-B5～B7遠景（西から）

【概要】 IWK-B5は、平成25年度の分布調査で新たに追加された埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。丘陵の平坦面に立地し、現況は山林である。

本年度は、工区内の2,200㎡を対象に、トレンチ10本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、各トレンチから遺構は確認できなかった。遺物は、3T・8Tから縄土土器、9Tから石器がわずかに出土しただけである。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。今回の

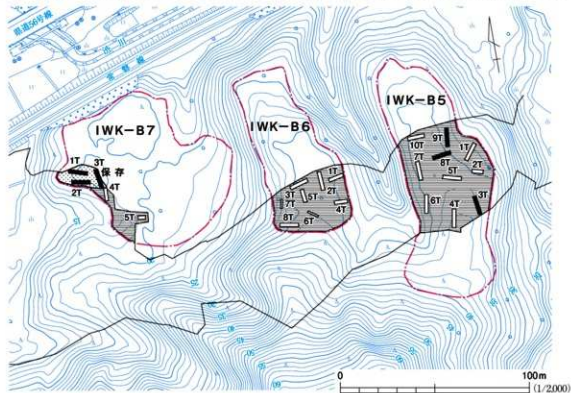


図4 IWK-B5～B7トレンチ配置

調査をもって、IWK-B5のすべての試掘調査は終了した。

IWK-B6

所在地 いわき市添野町大町

調査対象面積 1,200㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 IWK-B6は、平成25年度の分布調査で新たに追加された埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。丘陵の平坦部に立地し、現況は山林である。

本年度は、工区内の1,200㎡を対象に、トレンチ8本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、各トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。今回の調査をもって、IWK-B6のすべての試掘調査は終了した。

IWK-B7 [添野町大町遺跡]

所在地 いわき市添野町大町

調査対象面積 500㎡

保存面積 350㎡

検出遺構 土坑・溝跡・小穴

出土遺物 かわらけ・鉄滓

【概要】 IWK-B7は、平成25年度の分布調査で新たに追加された埋蔵文化財包蔵推定地である（『福島県内遺跡分布調査報告21』）。丘陵の平坦面に立地し、現況は荒地である。

本年度は、工区内の500㎡を対象にトレンチ5本を設定して行った。

【遺構・遺物】 遺構は、1Tで土坑1基・小穴1基、2Tで溝跡1条、3Tで土坑1基・小穴8基を確認した。遺物は、1Tの土坑内堆積土から鉄滓1点、3Tの5号小穴からかわらけ1点が出土した。この



2 IWK-B7調査区全景（南から）

表5 IWK-B7トレンチ一覧

トレンチ番号	検出遺構			出土遺物
	種類(時代)	確認面までの深さ	遺構内掘込み	
1T	土坑1・小穴1	30cm	○	鉄滓
2T	溝跡1	20cm	○	
3T	土坑1・小穴8(中世)	25cm	○	かわらけ



3 IWK-B7 1T土坑断面（北から）



4 IWK-B7 3T土坑断面（東から）

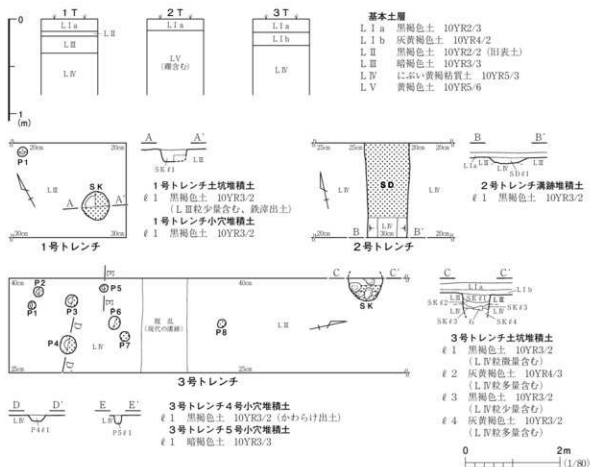


図5 IWK-B7検出遺構、土層

ため、各遺構の時期については不明であるが、出土遺物から判断すると中世の可能性が考えられる。

【ま と め】 調査の結果、遺構・遺物が確認された1～3Tを中心とした範囲(350m)については、保存の必要がある。今回の調査で、工区内におけるIWK-B7のすべての試掘調査は終了し、保存協議を要する範囲については添野町大町遺跡と呼称することとした。

第2節 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）予定地

只見川河川整備事業は、平成23年7月27日～30日の新潟・福島豪雨で甚大な洪水被害を受けた流域5町（会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、只見町）の計24地区を対象に、新たな堤防の整備や川幅の拡幅を実施するものである。現在、福島県土木部会津若松建設事務所が会津坂下町～金山町の20地区、福島県土木部南会津建設事務所が只見町の4地区の事業を進めている。

本事業に係る分布調査は、平成30年度に会津坂下町片門地区～金山町滝沢地区を対象に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地9箇所及び、新規の埋蔵文化財包蔵推定地11箇所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告26』）。その後、令和元・2年度に試掘・確認調査を実施している（『福島県内遺跡分布調査報告27』・『同28』）。また、令和元年度に金山町で埋蔵文化財包蔵推定地1箇所（KY-B6）を新たに追加したが、令和2年度の工事計画変更に伴い、KY-B6は調査対象外となった。本年度は、金山町横田・大塩地区における周知の埋蔵文化財包蔵地1箇所、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所の試掘・確認調査を実施した。

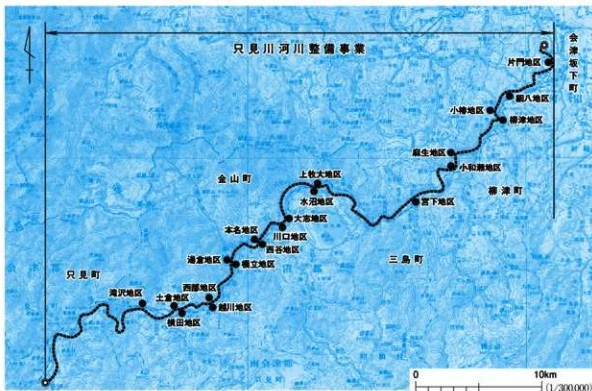


図6 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）位置



図7 金山町の遺跡

1 金山町の遺跡

高根沢館跡・KY-B4

所在地 金山町大字横田字高根沢

調査対象面積 6,900㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 高根沢館跡は、只見川の河岸段丘上に立地する中世の城館跡である。現況は宅地・畑地である。

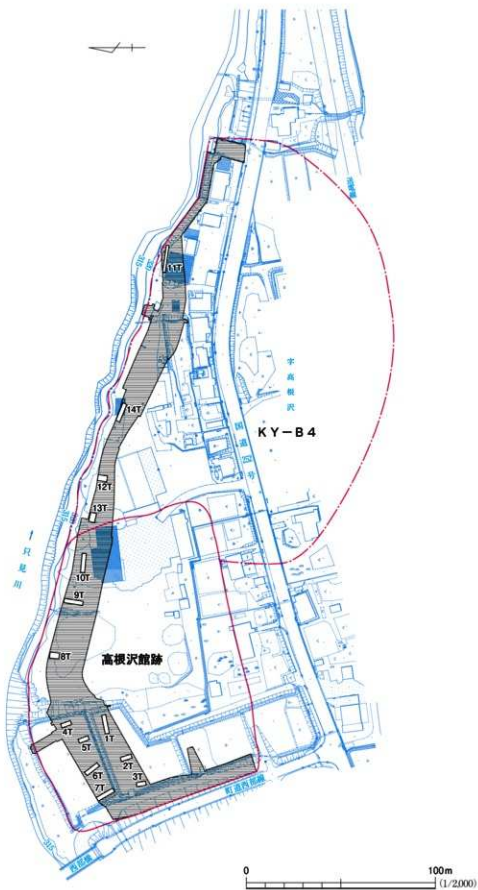


図8 高根沢館跡・KY-B4トレンチ配置

本年度の試掘・確認調査は、工区内の6,900㎡を対象にトレンチ14本を設定して実施した。

【ま と め】 調査の結果、各トレンチから遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は保存対象外と判断した。今回の調査をもって、高根沢館跡・KY-B4のすべての試掘・確認調査は終了した。

KY-B7 [中西部遺跡]

所在地 金山町大字大塩字中西部

調査対象面積 21,600㎡

保存面積 12,000㎡

検出遺構 住居跡・土坑・小穴・遺物包含層

出土遺物 縄文・弥生土器、石器・石製品

【概要】 KY-B7は、令和3年4月に実施した現地協議の際、金山町大字大塩字中西部の河道掘削工事計画地内において、縄文～弥生時代の遺物散布範囲として新たに発見された埋蔵文化財包蔵推定地である。只見川左岸の標高318m～326mの河岸段丘上に立地する。現況は山林である。調査区は、西部の上位段丘面と東部の下位段丘面に分けられる。



6 KY-B7 3T土坑断面(南から)



7 KY-B7 6T土坑検出(北西から)



5 KY-B7全景(北から)

表6 KY-B7トレンチ一覧

トレンチ 番号	検出遺構			出土遺物
	種 類 (時 代)	確認面ま での深さ	遺構内 掘込み	
1 T				弥生土器・石器
2 T				弥生土器
3 T	土坑1 (弥生)	30cm	○	弥生土器・石器
4 T				弥生土器・石器
5 T				石器
6 T	土坑1 (弥生)	20cm		石器
7 T				弥生土器
8 T	土坑3 (弥生)	50cm	○	弥生土器・石器
9 T	土坑8 (弥生)	40cm		弥生土器・石器
10 T	住居跡1・土坑2・ 小穴10・遺物包含層1 (縄文～弥生)	50cm		縄文土器・弥生 土器・石器
11 T	土坑2・遺物包含層1 (縄文～弥生)	10cm		縄文土器・弥生 土器・石器
12 T	土坑1 (弥生)	40cm	○	弥生土器・石器
13 T				弥生土器・石器
14 T				弥生土器
18 T	土坑1 (弥生)	50cm	○	弥生土器・石器
19 T				石器
25 T				石器
27 T				弥生土器
29 T				弥生土器・石器
33 T				石器
36 T				石器
37 T				石器
40 T	土坑1 (弥生)	30cm		弥生土器・石器
41 T				弥生土器
42 T				弥生土器
43 T	土坑1 (時期不明)	10cm	○	弥生土器・石器

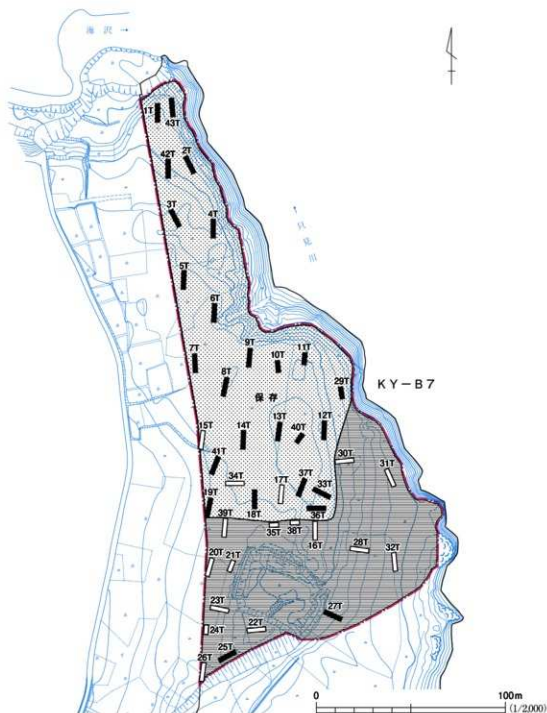


図9 KY-B7トレンチ配置

本年度の試掘調査は、21,600㎡を対象に、トレンチ43本を設定して行った。

【遺構】 遺構は、3T・6T、8T～12T、18T、40T、43Tで確認した。検出された多くの遺構は、LⅣで検出されているが、8T・11T等で検出した遺構は、LⅡから掘り込んでいることが確認された。

検出した遺構は、3T・6Tで土坑各1基、8Tで土坑3基、9Tで土坑8基、10Tで住居跡1軒・土坑2基・小穴10基・遺物包含層1箇所を確認した。また、11Tで土坑2基・遺物包含層1箇所、12T・18T・40T・43Tで土坑各1基を確認した。このうち、9Tの5号土坑、10Tの1号住居跡・8号小穴、11Tの1号土坑の時期については、出土遺物から弥生時代と考えられる。43Tの土坑を除く他の遺構についても、遺構内

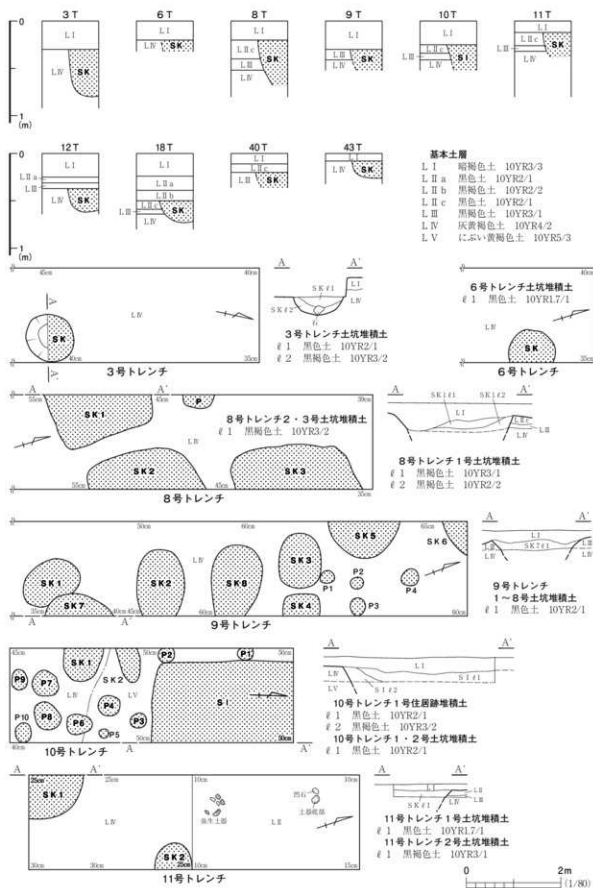


図10 K-Y-B7土層、検出遺構(1)

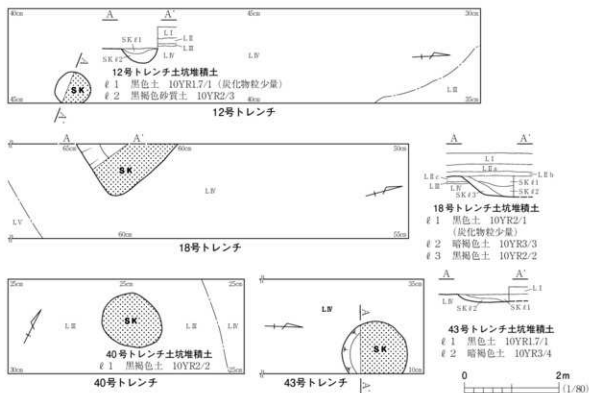


図11 KY-B7 検出遺構 (2)



8 KY-B7 9T 全景 (南から)



9 KY-B7 10T 住居跡検出 (南西から)



10 KY-B7 11T 全景 (南から)



11 KY-B7 12T 土坑断面 (南から)

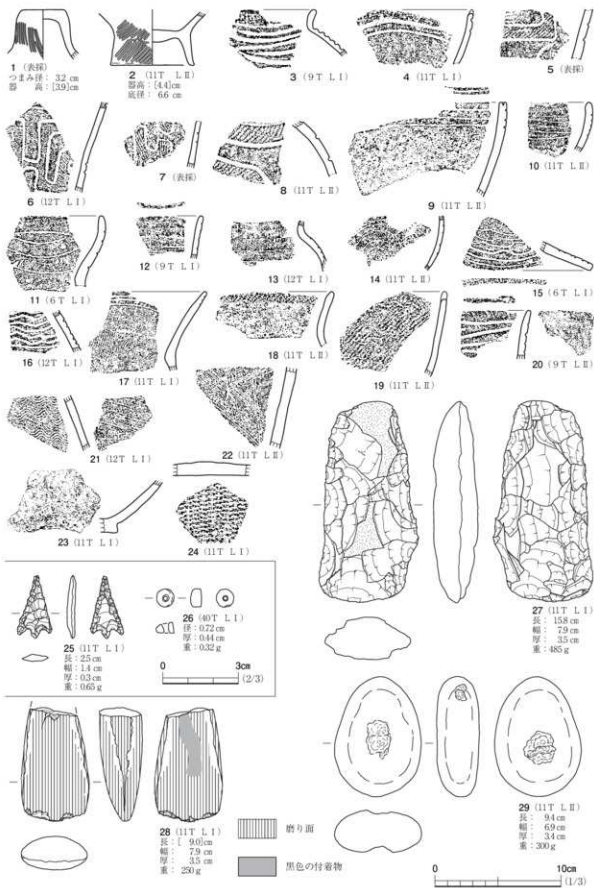


図12 KY-B7出土遺物

堆積土が近似することから、弥生時代の可能性が考えられる。

【遺 物】 遺物は、表採、LⅠ・LⅡ、遺構内から縄文土器、弥生土器、石器、石製品が出土した。主体となるのは弥生土器と石器・石製品である。このうちの一部を図12に掲載した。

図12-1～23は弥生土器である。1・2は縄文地文が施された弥生土器で、1が蓋、2が高杯である。3は壺型土器の口縁部片で、胴部上半に沈線で変形文字文が施される。4は弱い波状を呈する鉢型土器の口縁部片で、口縁部の直下に2重の沈線が巡るように施される。

図12-5～8は、土器の器面に付けた縄文を沈線で区画し、その部分についている縄文をすり消す磨消縄文が施される土器である。図12-9～14は、丁寧に器面を磨いた後、幅の狭い一本引きの沈線で文様が描かれた一本沈線文の土器である。これらの土器には、11のような重連弧文、12のような雷文、14のような渦巻き文等が認められる。また、13は細い沈線施文後、その間に部分的ではあるが非常に細かい縄文が施される。図12-15・16は、ササ等を半割した工具などを用い、平行沈線文で波状の文様を描く土器である。15は蓋の破片で、端部にのみ細かい縄文が施される。

図12-17～19は縄文地文の土器である。図12-20～22は条痕及び条線を施す土器である。20は内外面に斜め方向の条痕地文が、21は外面に櫛歯状の工具による波状文が施される。図12-23は鉢型土器の底部下端の破片で、器面の内外面ともに丁寧に磨きが施される。また、底部外面の体部とのつなぎ目の窪み部分には、赤彩された塗料がわずかに認められる。図12-24は底部破片で、土器製作時に土器底の下に敷かれた敷物の痕跡が明瞭に確認できる。この敷物は、タテ材間が広くヨコ材間が密になり、「2本越え1本潜り、1本送り」で編まれていることから、とびござ目編みでつくられたものと考えられる。土器の時期については、3・4が弥生時代前期、5～8が弥生時代中期前葉、9～16が弥生時代中期中葉～後葉と考えられる。

図12-25～29は石器・石製品である。25は基部に抉りを施す有蓋石鏃である。26は小型の玉で、両側から穿孔された状況が確認できる資料である。27は打製石斧である。28は磨製石斧の欠損品で、基部側の一部が失われている。29は、表面と裏面の中央部に窪みを持つ凹石で、側面には叩打痕が認められる。

【ま と め】 調査の結果、遺構・遺物を確認した1～14T、18T・19T・29T・33T・36T・37T・40～43Tを中心とした範囲(12,000m²)については、保存協議を要する範囲とした。その他の範囲については、保存対象外とした。なお、今回の調査で、工区内におけるKY-B7のすべての試掘調査は終了し、保存協議を要する範囲については中西部遺跡と呼称することとした。

第3節 丸森いわき幹線新設工事予定地

丸森いわき幹線は、東北電力管内と東京電力管内を結ぶ50万ボルト地域間連系送電線を新たに建設することで、両電力管内において安定した電力供給、供給信頼度の向上及び地域の発展に貢献することを目的とするものである。本事業の名称については、当初「東北東京間連系線(広域連系南幹線新設)事業」としていたが、令和4年6月2日から現在の名称に変更されている。現在は、東北電力ネットワーク株式会社が事業を進めている。

丸森いわき幹線に関する埋蔵文化財の調査は、令和2年度に相馬市～田村市にかけての10.7ha、工長約64kmを対象に分布調査を実施し、4箇所所周知の埋蔵文化財包蔵地及び4箇所の埋蔵文化財包蔵推定地を確認した(『福島県内遺跡分布調査28』)。



図14 相馬市の遺跡

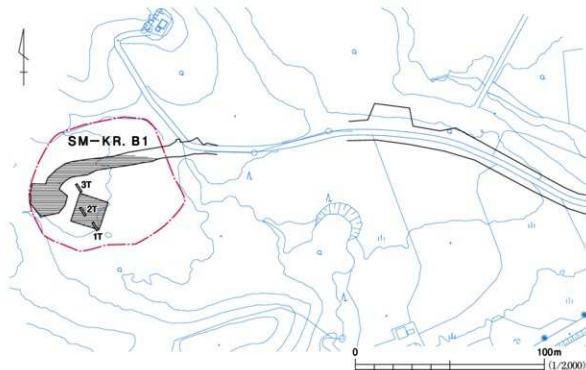


図15 SM-KR.B1 トレンチ配置

【概要】 SM-KR.B1は、玉野川左岸の丘陵裾緩斜面上(標高約510m)に立地する埋蔵文化財包蔵推定地である。現況は山林である。本年度の試掘調査は、工区内の665㎡を対象に、トレンチ3本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象

外と判断した。

なお、今回の調査で、SM-KR. B1のすべての試掘調査は終了した。

2 飯館村の遺跡

IT-KR. B1

所在地 飯館村佐須字虎捕

調査対象面積 200㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし



図16 飯館村の遺跡

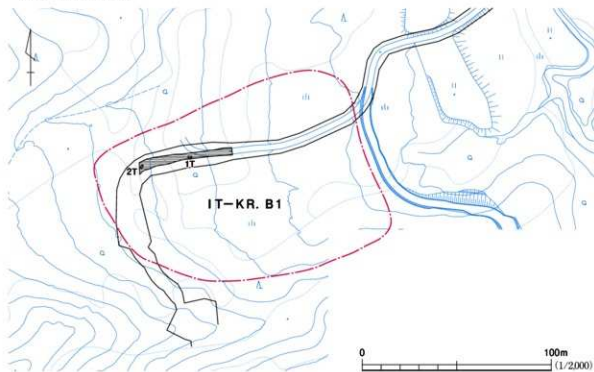


図17 IT-KR. B1トレンチ配置

【概要】 IT-KR. B1は、真野川右岸の丘陵裾緩斜面上に立地する埋蔵文化財包蔵推定地である。現況は山林である。本年度の試掘調査は、工区内の200㎡を対象に、トレンチ2本を設定して行った。

【まとめ】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

なお、今回の調査で、IT-KR. B1のすべての試掘調査は終了した。

3 川俣町の遺跡

KM-KR. B1

所在地 川俣町小網木字東野馬畑

調査対象面積 170㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概要】 KM-KR. B1は、広瀬川北側の丘陵緩斜面上に立地する埋蔵文化財包蔵推定地である。現況は荒地である。本年度の試掘調査は、工区内の170㎡を対象に、トレンチ2本を設定して行った。



図18 川俣町の遺跡

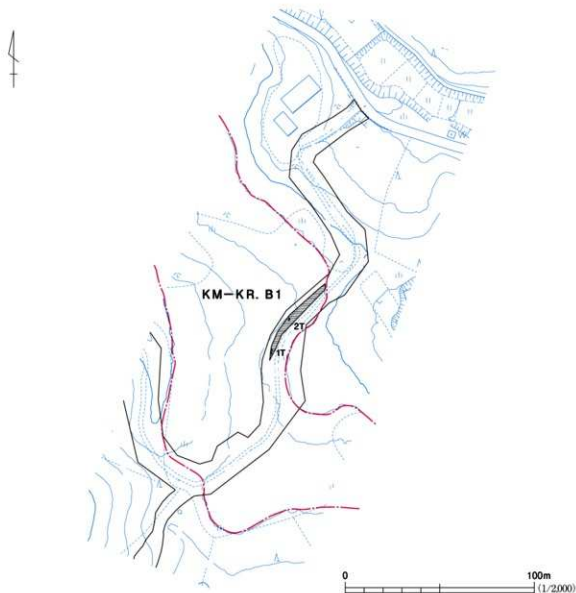


図19 KM-KR. B1トレンチ配置

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。

なお、今回の調査で、KM-KR. B1のすべての試掘調査は終了した。

KM-KR. B2

所在地 川俣町山木屋字大和田山

調査対象面積 130㎡

保存面積 0㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

【概 要】 KM-KR. B2は、広瀬川右岸の丘陵緩斜面上に立地する埋蔵文化財包蔵推定地である。現況は山林である。本年度の試掘調査は、工区内の130㎡を対象に、トレンチ2本を設定して行った。

【ま と め】 試掘調査の結果、遺構・遺物は確認できなかった。よって、工区内の調査範囲は、保存対象外と判断した。また、今回の調査で、KM-KR. B2のすべての試掘調査は終了した。

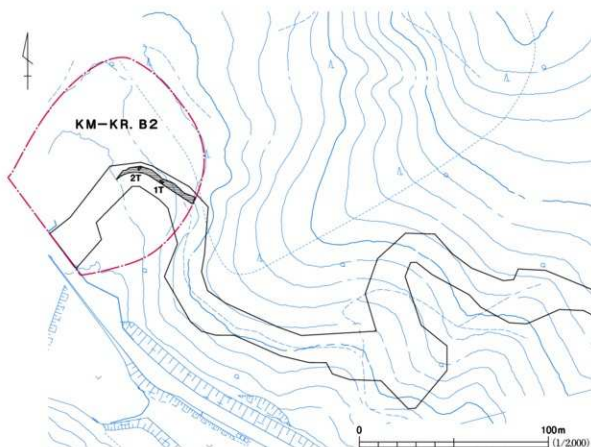


図20 KM-KR. B2トレンチ配置

第4節 国道288号整備事業予定地

国道288号整備事業は、復興と帰還を加速させるため、幹線道路の整備を行う『ふくしま復興再生道路整備』対象路線一つで、大熊町大字野上字湯の神地区において国道288号の拡幅工事を実施するものである。現在は、福島県土木部相互建設事務所及び環境省福島地方環境事務所が事業を進めている。

本事業に係る埋蔵文化財の調査は、令和元～3年度に大熊町教育委員会が実施した。分布調査では新規の埋蔵文化財包蔵推定地1箇所を確認した。その後の工事立会において、井戸神沢遺跡と井戸神沢製鉄遺跡の2遺跡であることが確認され、新規に登録された。このうち、井戸神沢製鉄遺跡については、大熊町教育委員会が令和3年度に工区内の発掘調査を実施した。

本年度は、大熊町大字野上字地区における井戸神沢遺跡1箇所での確認調査を実施した。

1 大熊町の遺跡

井戸神沢遺跡

所在地 大熊町大字野上字湯の神

調査対象面積 850㎡

検出遺構 なし

保存面積 0㎡

出土遺物 縄土器・鉄滓



図21 国道288号整備事業位置

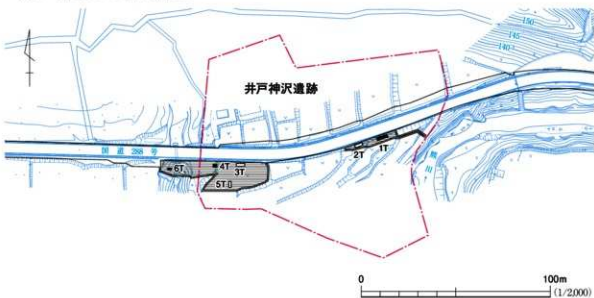


図22 井戸神沢遺跡トレンチ配置

【概要】 井戸神沢遺跡は、熊川左岸の河岸段丘上に立地する。現況は荒地である。本年度の確認調査は、国道南側工区内の850㎡を対象に、トレンチ6本を設定して行った。また、井戸神沢遺跡の北西側から西側にかけては、近年の集中豪雨による土石流とともに流れてきた鉄滓が地表面に散在する状況が確認される。これらの鉄滓に関しては、遺跡の北西側約250m付近に存在する製鉄炉(未登録遺跡)の排滓の可能性が考えられる。

【まとめ】 確認調査の結果、遺構は確認できなかったが、遺物は1Tの盛土層から縄文土器2点、4T・6Tの表土から鉄滓が各1点出土した。これらの遺物については、流れ込みによるものと考えられる。このため、工区内の調査範囲については、保存対象外と判断した。また、今回の調査で、井戸神沢遺跡のすべての確認調査は終了した。

第3章 分布調査

第1節 一級河川桜川筋広域河川改修事業予定地

一級河川桜川筋広域河川改修事業は、阿武隈川との合流地点である郡山市富久山町から三春町中心地区手前までの範囲において、頻発化・激甚化する水災害に対する備えとして、雨水が円滑に流れるよう河川の掘削及び築堤建設等の治水対策を行う事業である。現在、福島県土木部県中建設事務所が事業を進めている。

本年度は、埋蔵文化財に係る調査の初年度であり、郡山市富久山町から三春町までの77,000㎡を対象に分布調査を行った。その結果、表7-1・2に示した周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地8箇所を確認した。なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事計画変更等により、事業地から外れる可能性がある。



図23 一級河川桜川筋広域河川改修事業位置

表7-1 一級河川桜川筋広域河川改修事業関連遺跡一覧

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積 (㎡)	備考
1	石舟遺跡	20360878	郡山市富久山町南小泉 字石舟・川原・江下	畑地・宅地・ 水田		縄文		周知の埋蔵文化財包蔵地
2	沖田遺跡	20360877	郡山市富久山町南小泉 字沖田・前田・原敷内	畑地・宅地・ 水田		平安		周知の埋蔵文化財包蔵地
3	CY-SG.B1		郡山市富久山町北小泉 字懸鼻・原敷内	畑地・宅地				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
4	CY-SG.B2		郡山市舞木町字岡明田	畑地・宅地				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
5	CY-SG.B3		郡山市舞木町字日除田・ 正神平	宅地・畑地				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
6	CY-SG.B4		郡山市舞木町字四合田・ 石神	畑地・荒地				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
7	CY-SG.B5		郡山市舞木町字平	畑地・水田				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地

表7-2 一級河川桜川筋広域河川改修事業関連遺跡一覧

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積 (㎡)	備考
8	CY-SG.B6		郡山市舞木町字宮ノ前	畑地・水田				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
9	MH-SG.B1		三春町大字上舞木字宮ノ前	宅地・畑地				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
10	MH-SG.B2		三春町大字上舞木字後田・貝袋田	宅地・水田				新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
11	上舞木後田遺跡	S2130014	三春町大字上舞木字後田・貝袋田	畑地・荒地	平安			周知の埋蔵文化財包蔵地

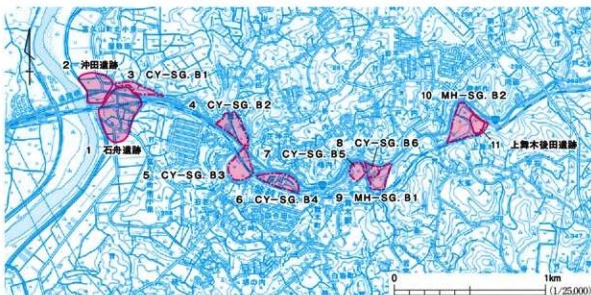


図24 一級河川桜川筋広域河川改修事業予定地と遺跡・遺跡推定地



12 石舟遺跡・沖田遺跡現況 (西から)



13 CY-SG.B1現況 (東から)



14 CY-SG.B2現況 (南東から)



15 CY-SG.B3現況 (東から)



16 CY-SG. B4現況 (北西から)



17 CY-SG. B5現況 (東から)



18 CY-SG. B6現況 (北から)



19 MH-SG. B1現況 (北から)



20 MH-SG. B2現況 (北西から)



21 上舞木後田遺跡現況 (東から)

第2節 東北自動車道原瀬川橋床版取替工事予定地

東北自動車道原瀬川橋床版取替工事予定地は、二本松市と大玉村の境に位置する原瀬川に架かる東北自動車道原瀬川橋において、車荷重や冬期間中の凍結防止剤散布等の影響により、疲労及び劣化した既設のコンクリート床版を新しい床版に取り替える事業である。現在、ネクスコ東日本東北支社が事業を進めている。

本年度は、埋蔵文化財に係る調査の初年度であり、東北自動車道の東側において仮設の高速道路建設、工事用道路及び工事用資材ヤード範囲となる29,200㎡を対象に分布調査を実施した。その結果、表8に示した埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を確認した。このうち、NH-TH. B2については、北側の久保遺跡と接す

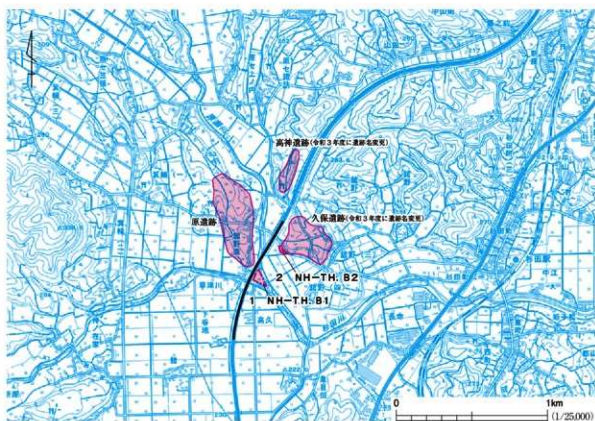


図25 東北自動車道原瀬川橋床版取替工事位置

表8 東北自動車道原瀬川橋床版取替工事関連遺跡一覧

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	NH-TH. B1		二本松市釜野原	荒地	縄文	石鏃	4,500	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
2	NH-TH. B2		二本松市釜野4丁目	果樹園・墓地	平安	土器器	1,200	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地

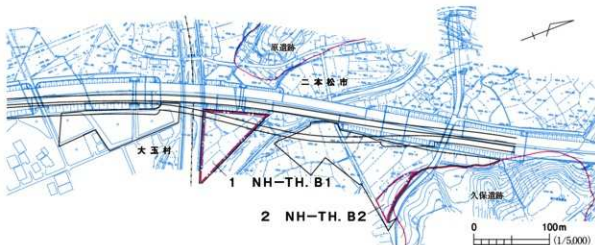


図26 原瀬川橋床版取替工事予定地と遺跡・遺跡推定地

ることから、この遺跡に含められるものと考えられる。

なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事計画変更等により、事業地から外れる可能性がある。



22 NH-T.H. B1現況（北西から）



23 NH-T.H. B2現況（東から）

第3節 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）予定地

阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）は、令和元年の台風19号に伴う洪水で甚大な被害を受けた流域地区を対象に、河川氾濫が起こりやすい鏡石町・玉川村・矢吹町の阿武隈川沿川地区の洪水防御・調整の遊水地整備を行う事業である。現在、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所が事業を進めている。

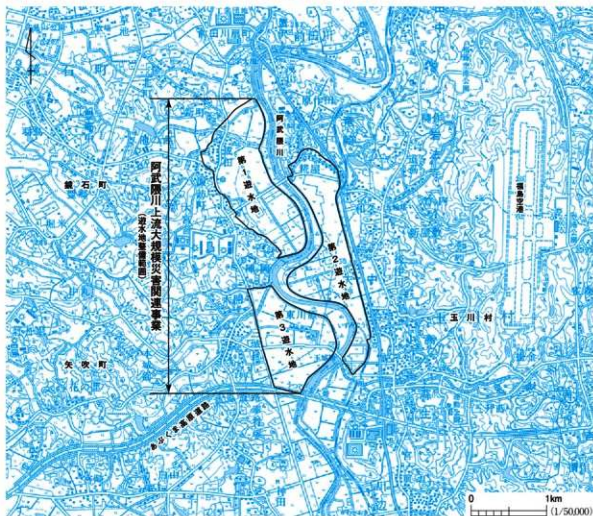


図27 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）位置

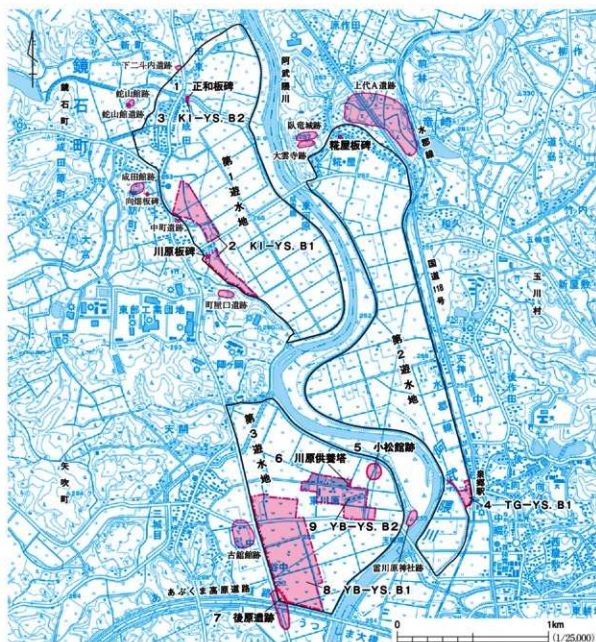


図28 遊水地予定地と遺跡・遺跡推定地

表9-1 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）関連遺跡一覧

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	正和板碑	34210057	鏡石町成田	神社境内	中世	-	-	周知の埋蔵文化財包蔵地
2	K1-YS-B1		鏡石町源跡町・河原	水田・畑地	奈良・平安	土師器・須恵器	72,000	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
3	K1-YS-B2		鏡石町成田	神社境内	奈良・平安	土師器	300	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
4	TG-YS-B1		玉川村小高橋荷囀・中道下	水田・畑地	奈良・平安	土師器	8,000	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
5	小松館跡	46670106	矢吹町陣ヶ岡	水田	中世	-	9,000	周知の埋蔵文化財包蔵地
6	川原供養塔	46670062	矢吹町東川原	宅地	中世	-	-	周知の埋蔵文化財包蔵地
7	後原遺跡	46670069	矢吹町谷中	水田	奈良・平安	-	3,000	周知の埋蔵文化財包蔵地

表9-2 阿武隈川上流大規模災害関連事業（遊水地）関連遺跡一覧

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
8	YB-YS.B1		矢吹町谷中・中沖・東川原	水田・畑地	奈良・平安	土師器・須恵器	225,000	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地
9	YB-YS.B2		矢吹町東川原	水田・畑地	奈良・平安	土師器	80,000	新発見の埋蔵文化財包蔵推定地



24 正和板碑現況（南から）



25 KI-YS.B1北部現況（東から）



26 KI-YS.B1南部現況（南から）



27 TG-YS.B1現況（北から）



28 小松館跡現況（南から）



29 川原供養塔現況（南から）

本年度は、遊水地計画に伴う埋蔵文化財に係る調査の初年度であり、鏡石町・玉川村・矢吹町における第1～第3遊水地の3工区にかけての3,500,000m²（350ha）を対象に分布調査を行った。このうち、第1遊水地の成田・諏訪町集落(200,000m²)、第2遊水地の枇屋集落(160,000m²)、天神・天神前集落(40,000m²)、第3遊水地の南部中央付近の牧草地及び荒地範囲(100,000m²)については、条件が整わないため、計500,000m²の分布調査を行うことができなかった。但し、第1遊水地の成田集落北端部にある白山神社については、調



30 後原遺跡現況（北から）



31 YB-Y5, B1現況（南から）

査を実施した。調査の結果、表9-1・2に示した周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地5箇所を確認した。なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事変更等により、事業地から外れる可能性がある。

第4節（仮称）大滝山風力発電事業予定地

（仮称）大滝山風力発電事業は、猪苗代町と郡山市境にある大滝山の周辺において風力発電機建設及びそれに伴う工事用道路建設等が予定されている。また、風車で発生した電力については、大滝山周辺から郡山市日和田発電所までの区間の市道や林道等に電線を埋設して電力を送る計画である。現在、JR東日本エネ

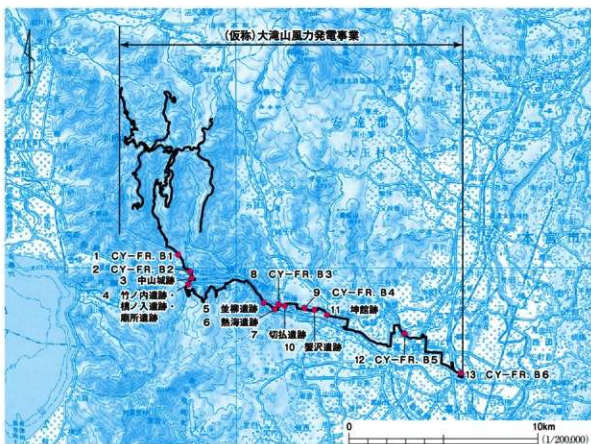


図29（仮称）大滝山風力発電事業位置

表10 (仮称)大滝山風力発電事業関連遺跡一覧

No	遺跡名	遺跡番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	CY-FR, B1		郡山市熱海市中山字大平・釜ヶ沢・細平山・榎木立・北向	山林	縄文	縄文土器	1,400	新発見の埋蔵文化財包蔵地
2	CY-FR, B2		郡山市熱海市中山字北向・城ノ脇	水田・畑地			700	新発見の埋蔵文化財包蔵地
3	中山城跡	20360009	郡山市熱海市中山字城ノ脇・北ノ城・松林・稲田・北向	宅地・山林・畑地・水田	中世		150	周知の埋蔵文化財包蔵地
4	竹ノ内遺跡・横ノ入遺跡・廟所遺跡	20360791 20360911 20360792	郡山市熱海市安子島字竹ノ内・横ノ入・出戸松沢	畑地・水田・宅地	縄文		190	周知の埋蔵文化財包蔵地
5	並柳遺跡	20360038	郡山市熱海市熱海4丁目	宅地・畑地・栗樹園	縄文		180	周知の埋蔵文化財包蔵地
6	熱海遺跡	20360040	郡山市熱海市熱海1～4丁目・熱海町高玉字仲井	宅地・畑地・水田	縄文		660	周知の埋蔵文化財包蔵地
7	切払遺跡	20360041	郡山市熱海市熱海1・2丁目	宅地	縄文		220	周知の埋蔵文化財包蔵地
8	CY-FR, B3		郡山市熱海市熱海1～4丁目・郡山市熱海市玉川字反田・対面原・阿賀沢	宅地・畑地・水田・荒地			2,000	新発見の埋蔵文化財包蔵地
9	CY-FR, B4		郡山市熱海市玉川字阿賀沢・中田・万海田・袴子・久保田・通平・冠木	水田・畑地・荒地・宅地	縄文	縄文土器・土師器・石器	1,500	新発見の埋蔵文化財包蔵地
10	蟹沢遺跡	20360047	郡山市熱海市玉川字蟹沢・中田・冠木	水田・畑地	縄文		250	周知の埋蔵文化財包蔵地
11	坤館跡	20360049	郡山市熱海市安子島字漢ノ上・植松・釜師堂・五輪庵	宅地・山林・水田・畑地	中世		180	周知の埋蔵文化財包蔵地
12	CY-FR, B5		郡山市喜久田町前田沢字上原・喜久田町原1・2丁目	水田・畑地・宅地			300	新発見の埋蔵文化財包蔵地
13	CY-FR, B6		郡山市日和田字朝日組・沼田・館	宅地・畑	平安		400	新発見の埋蔵文化財包蔵地

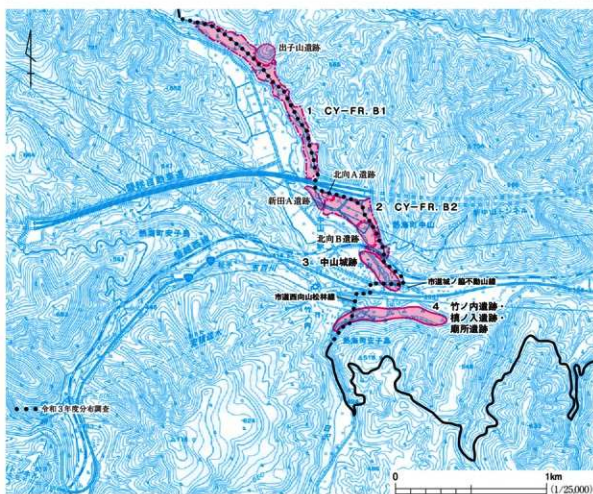


図30 (仮称)大滝山風力発電事業予定地と遺跡・遺跡推定地(1)

ギ一開発株式会社及び磐栄運送株式会社が事業を進めている。

本年度は、埋蔵文化財に係る調査の初年度であり、郡山市熱海町中山～日和田町までの767,000㎡を対象に分布調査を行った。そのうち、大滝山周辺部の731,600㎡の範囲については、分布調査を行わないこととした。また、分布調査ができなかった郡山市熱海町安子島林道については、来年度実施する予定である。その結果、表10に示した周知の埋蔵文化財包蔵地9箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地6箇所を確認した。

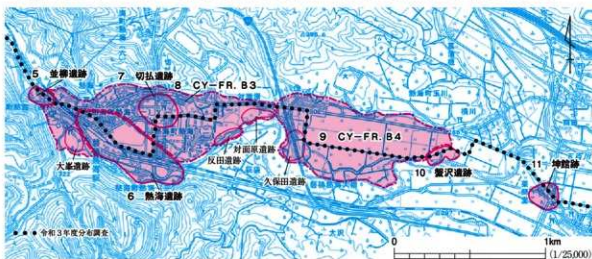


図31 (仮称)大滝山風力発電事業予定地と遺跡・遺跡推定地 (2)

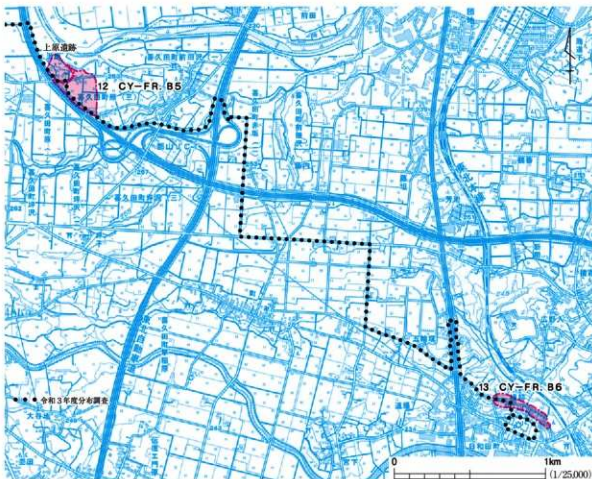


図32 (仮称)大滝山風力発電事業予定地と遺跡・遺跡推定地 (3)



32 C Y-F R. B 1 現況 (西から)



33 C Y-F R. B 2 現況 (南東から)



34 中山城跡現況 (南から)



35 竹ノ内・横ノ入・廟所遺跡現況 (東から)



36 並柳遺跡現況 (東から)



37 熱海遺跡現況 (東から)



38 C Y-F R. B 3 現況 (北東から)



39 切払遺跡現況 (南西から)



40 C Y-F R. B 4 現況 (東から)



41 蟹沢遺跡現況 (北東から)



42 坤館跡現況 (東から)



43 C Y-F R. B 6 現況 (西から)

なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事変更等により、事業地から外れる可能性がある。

第5節 地域高規格道路（会津縦貫南道路）建設予定地

会津縦貫南道路は、会津若松市を基点に南会津町田島地区に至る総延長約50kmの地域高規格道路である。現在までに埋蔵文化財の調査は、下郷町小沼崎～塩生までの小沼崎・湯野上バイパス区間がすべて終了している。また、下郷町塩生から南会津町田島地区内(下郷田島バイパス)については、平成25・26・29年度に分布調査を実施し、埋蔵文化財包蔵推定地2箇所を確認した。

今回の報告は、平成29年度に実施した分布調査の成果報告である。分布調査は、下郷町・南会津町にかかる下郷田島バイパス区間の約11km、34haを対象に実施した。その結果、南会津町において埋蔵文化財包蔵推定地1箇所(MA-B1)を確認した。

また、表11には、下郷田島バイパス関連遺跡として、平成25・26年度の分布調査で確認した下郷町のCG-B14も併せて掲載した(『福島県内遺跡分布調査報告25』)。なお、今回提示した周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地については、今後の工事変更等により、事業地から外れる可能性がある。



44 MA-B1 中央部現況 (南から)



図33 地域高規格道路（会津縦貫南道路）位置

表11 地域高規格道路（会津縦貫南道路）関連遺跡一覧

No	遺跡名	道路番号	所在地	現況	時代	採取遺物	工区内面積(m ²)	備考
1	CG-B14		下郷町落合字ジゴ坂	栗樹園・荒地			9,370	新発見の縄織文化財包蔵推定地 [県内分25] 38頁
2	MA-B1		南会津町田島字田部原	宅地・山林			9,550	新発見の縄織文化財包蔵推定地

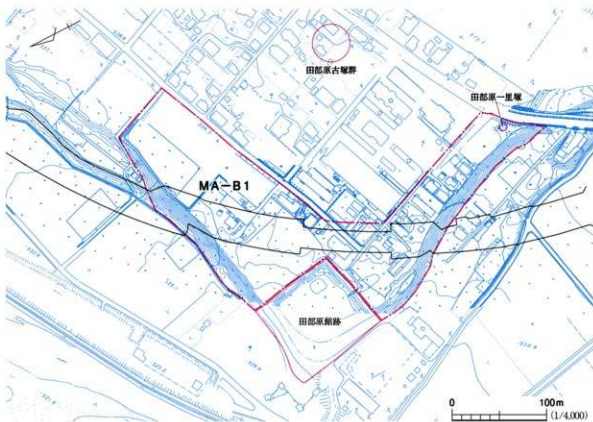


図34 地域高規格道路（会津縦貫南道路）予定地と遺跡・遺跡推定地

第4章 総括

令和3年度は、試掘・確認調査を4事業(2市3町1村)の周知の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地で実施した。これらの調査は、令和3年4月中旬から7月上旬の期間で行った。試掘・確認調査の結果、計2箇所で見保存を要する範囲が確定した。なお、保存を要する範囲が確定したIWK-B7〔添野町大町遺跡〕・KY-B7〔中西部遺跡〕については、令和4年度に発掘調査を実施する予定である。

以下、令和3年度の調査成果をまとめたが、今後の工事計画変更等により、工区内面積等は変動する可能性がある。

1 主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)建設予定地

主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)は、いわき市小名浜浜と常磐自動車道を結ぶ全長8.3kmの自動車専用道路である。本事業に係る分布調査は平成25年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地3箇所と新規の埋蔵文化財包蔵推定地13箇所を確認した〔福島県内遺跡分布調査報告21〕。その後、試掘・確認調査は、平成27年度に江畑館跡の1箇所、平成29年度に江畑町堀ノ内館跡、IWK-B10の2箇所、平成30年度に泉大平遺跡、IWK-B1の2箇所、令和元年度にIWK-B2、IWK-B3、IWK-B4、IWK-B13の4箇所で行ったが、保存を要する範囲はなかった〔福島県内遺跡分布調査報告23〕、〔同25〕、〔同26〕、〔同27〕。

〔いわき市〕本年度の同市地内の主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)に係る試掘・確認調査は、IWK-B5、IWK-B6、IWK-B7の3箇所で行った。その結果、IWK-B7において保存を要する範囲(350㎡)が確定した。また、本年度で、IWK-B5、IWK-B6、IWK-B7の試掘確認調査を終了した。以上により、いわき市内における小名浜道路の試掘・確認調査をすべて終了した。

表12 主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧(いわき市)

№	遺跡名	試掘調査		年度別調査対象面積			未試掘面積(㎡)	保存面積(㎡)	備考		
		終	未	年度	面積(㎡)	報告書					
1	泉大平	●		3,200	H30	3,200	〔限内分26〕	0	0	H30工事計画の変更により、工区内面積増加	
2	IWK-B1	●		5,800	H30	5,800	〔限内分26〕	0	0	H30工事計画の変更により、工区内面積増加	
3	IWK-B2	●		2,100	R1	2,100	〔限内分27〕	0	0	R1工事計画の変更により、工区内面積増加	
4	IWK-B3	●		1,100	R1	1,100	〔限内分27〕	0	0	R1工事計画の変更により、工区内面積増加	
5	IWK-B4	●		1,800	R1	1,800	〔限内分27〕	0	0	R1工事計画の変更により、工区内面積増加	
6	IWK-B5	●		2,200	R3	2,200	(5頁)	0	0	R3工事計画の変更により、工区内面積増加	
7	IWK-B6	●		1,200	R3	1,200	(6頁)	0	0	R3工事計画の変更により、工区内面積増加	
8	IWK-B7 〔添野町大町〕	●		500	R3	500	(6頁)	0	350	R3工事計画により、工区内面積が示された添野町大町遺跡として新規登録	
9	江畑町 堀ノ内館跡	●		10,100	H29	10,100	〔限内分25〕	0	0	H29工事計画の変更により、工区内面積増加	
10	江畑館跡	●		10,000	H27	10,000	〔限内分23〕	0	0		
11	IWK-B10	●		2,600	H29	2,600	〔限内分25〕	0	0	H29工事計画の変更により、工区内面積増加	
12	IWK-B11	●		400	H30	-	〔限内分26〕	0	0	H30現地協議により、試掘対象外	
13	IWK-B13	●		11,300	R1	11,300	〔限内分27〕	0	0	H30工事計画の変更により、工区内面積増加	
いわき市 計				13	0	0	52,300	終了	51,900	0	350
							R3	3,900		0	350

2 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）予定地

只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）は、平成23年の新潟・福島豪雨で甚大な被害を受けた流域を対象に、新たな堤防の整備や川幅の拡幅を実施するものである。本事業に係る分布調査は、平成30年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地9箇所と新規の埋蔵文化財包蔵推定地11箇所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告26』）。その後、試掘・確認調査は、令和元年度に中丸城跡、KY-B6の2箇所、令和2年度に中丸城跡（第2次調査）の1箇所で行ったが、保存を要する範囲はなかった（『福島県内遺跡分布調査報告27』、『同28』）。

【金山町】 本年度の同町地区内の只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）に係る試掘・確認調査は、高根沢館跡・KY-B4、KY-B7の3箇所で行った。このうち、KY-B7は、本年度の4月に新たに発見された埋蔵文化財包蔵推定地である。調査の結果、KY-B7で保存を要する範囲（12,000㎡）が確定した。また、本年度で、高根沢館跡・KY-B4、KY-B7の試掘・確認調査を終了した。

以上により、金山町地区内の只見川河川整備で令和3年度以降、試掘・確認調査の対象となる埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵推定地は、計5箇所である。これらについては、工区範囲が未確定のため、試掘・確認調査が必要な未試掘面積の合計は未定である。

表13 只見川河川整備事業（片門地区～滝沢地区）関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（金山町）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内面積(㎡)	年度別調査対象面積		未試掘面積(㎡)	保存面積(㎡)	備考		
		終	未		年度	面積(㎡)				報告書	
1	KY-B1		●	-					工区範囲未確定		
2	KY-B2		●	-					工区範囲未確定		
3	稲場遺跡		●	-					工区範囲未確定		
4	KY-B6	●		6,400	R1	900	「限内分27」	0	R2の現地協議により、試掘対象外		
5	KY-B7 [中西部]	●		21,600	R3	21,600	(10頁)	0	12,000	中西部遺跡として新規登録	
6	KY-B3		●	-					工区範囲未確定		
7	高根沢館跡・ KY-B4	●		6,900	R3	6,900	(8頁)	0	0		
8	中丸城跡	●		9,500	R1 R2	2,600 2,100	「限内分27」 「限内分28」	0	0	R2の現地協議により、未試掘の5,800㎡は保存対象外と判断	
9	KY-B5		●	-					工区範囲未確定		
金山町 計				5	0	5	44,400	終了	34,100	0	12,000
							R3	28,500		0	12,000

3 丸森いわき幹線新設工事予定地

丸森いわき幹線では、相馬市・伊達市・二本松市を經由し、田村市都路町に至る区間において新たな送電線の建設計画が進められてきた。本事業に係る分布調査は、令和2年度に実施し、周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所及び埋蔵文化財包蔵推定地4箇所を確認した（『福島県内遺跡分布調査報告28』）。本年度は、相馬市・飯館村・川俣町において4箇所の試掘・確認調査を実施した。

【相馬市】 丸森いわき幹線に係る試掘・確認調査は、SM-KR、B1の1箇所で行った。その結果、保存を要する箇所はなかった。また、本年度でSM-KR、B1の試掘調査を終了した。

【飯館村】 本年度の同村地区内の丸森いわき幹線に係る試掘・確認調査は、IT-KR、B1の1箇所で行った。

表14 丸森いわき幹線関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（相馬市・飯館村・川俣町・二本松市・田村市）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内 面積(m ²)	年度別調査対象面積			未試掘 面積(m ²)	保存 面積(m ²)	備 考
		終	未		年度	面積(m ²)	報告書			
【相馬市】										
1	SM-KRB1	●		665	R3	665	(16頁)	0	0	
相馬市 計		1	0	0	665	終了	665	0	0	
					R3	665		0	0	
【飯館村】										
2	IT-KRB1	●		200	R3	200	(18頁)	0	0	
飯館村 計		1	0	0	200	終了	200	0	0	
					R3	200		0	0	
【川俣町】										
3	KM-KRB1	●		170	R3	170	(19頁)	0	0	
4	鹿平B遺跡	●		165	-	-	-	-	-	R3の工事計画変更に伴い、試掘対象外
5	KM-KRB2	●		130	R3	130	(20頁)	0	0	
川俣町 計		2	0	0	465	終了	300	0	0	
					R3	300		0	0	
【二本松市】										
6	鳥上遺跡	●		640	-	-	-	-	-	R3の工事計画変更に伴い、試掘対象外
二本松市 計		1	0	0	640	-	-	-	-	
【田村市】										
7	北ノ作遺跡	●		140	-	-	-	-	-	R3の工事計画変更に伴い、試掘対象外
8	道ノ内遺跡	●		670	-	-	-	-	-	R3の工事計画変更に伴い、試掘対象外
田村市 計		2	0	0	810	-	-	-	-	
相馬市・飯館村・川俣町・二本松市・田村市 合計										
		8	0	0		終了	1,165	0	0	
					R3	1,165		0	0	

実施し、保存を要する箇所はなかった。また、本年度でIT-KRB1の試掘調査を終了した。

【川 俣 町】本年度の同町地内の丸森いわき幹線に係る試掘・確認調査は、KM-KRB1、KM-KRB2の2箇所で行った。その結果、保存を要する箇所はなかった。また、本年度でKM-KRB1、KM-KRB2の試掘調査を終了した。

その他の周知の埋蔵文化財包蔵地4箇所については、工事計画変更に伴い確認調査の対象外となった。以上により、丸森いわき幹線に係る試掘・確認調査はすべて終了した。

4 国道288号整備事業予定地

国道288号整備事業は、大熊町野上字湯の神地区において国道288号の拡幅工事を実施するものである。本事業に係る埋蔵文化財の分布調査及び工事立会は、令和元年度から同3年度にかけて大熊町教育委員会が実施した。分布調査では、新規の埋蔵文化財包蔵推定地1箇所を確認した。この範囲については、その後の工事立会において、井戸神沢遺跡と井戸神沢製鉄遺跡の2遺跡であることが確認され、新規に登録された。

【大 熊 町】本年度の同町地内の国道288号整備事業に係る試掘・確認調査は、井戸神沢遺跡の1箇所で行った。その結果、保存を要する箇所はなかった。また、本年度で井戸神沢遺跡の確認調査を終了した。その他、井戸神沢製鉄遺跡については、大熊町教育委員会が令和3年度に発掘調査を実施し、終了した。

表15 国道288号整備事業関連試掘・確認調査対象遺跡成果一覧（大熊町）

No	遺跡名	試掘調査		遺跡工区内 面積(m ²)	年度別調査対象面積			未試掘 面積(m ²)	保存 面積(m ²)	備 考
		終	未		年度	面積(m ²)	報告書			
1	井戸神沢遺跡	●		850	R3	850	(21頁)	0	0	
大熊町 計		1	0	0	850	終了	850	0	0	
					R3	850		0	0	

5 埋蔵文化財包蔵地の登録

本報告における分布調査及び試掘・確認調査の結果、2件の埋蔵文化財包蔵地を新たに周知した。今後は、以下の内容に基づいて埋蔵文化財の保護を行う。

表16 埋蔵文化財包蔵地（新規・変更）一覧

市町村 コード	遺跡 コード	遺跡名	所在地	登録概要	種別	時代	面積	備考
2044	1485	添野町大町遺跡	いわき市添野町大町	新規登録	散布地	中世	2,230㎡	1WK-B7の一部を添野町大町遺跡として登録
4454	0150	中西部遺跡	金山町大字大塩字中西部	新規登録	散布地	縄文～弥生	20,000㎡	KY-B7の一部を中西部遺跡として登録

【いわき市】

添野町大町遺跡(いわき市添野町大町)

地主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)建設予定地内で、埋蔵文化財包蔵推定地1WK-B7の試掘調査を実施したところ、中世と考えられる土坑や溝跡などの埋蔵文化財の存在を確認した。埋蔵文化財の拡がり予想される範囲については、今回の調査範囲と同一地形の範囲を含めて周知の埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。

登録面積は2,230㎡である。

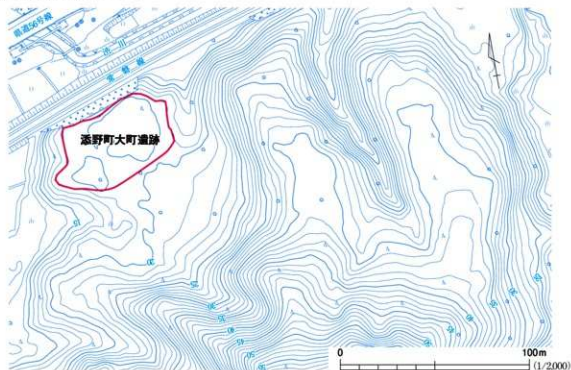


図35 添野町大町遺跡の範囲

【金山町】

中西部遺跡(金山町大字大塩字中西部)

只見川河川整備事業予定地内で、埋蔵文化財包蔵推定地KY-B7の試掘調査を実施したところ、縄文～弥生時代の住居跡や土坑など、埋蔵文化財の存在を確認した。埋蔵文化財の拡がり予想される範囲については、今回調査範囲と同一地形を呈する範囲を含めて周知の埋蔵文化財包蔵地として新規に登録した。

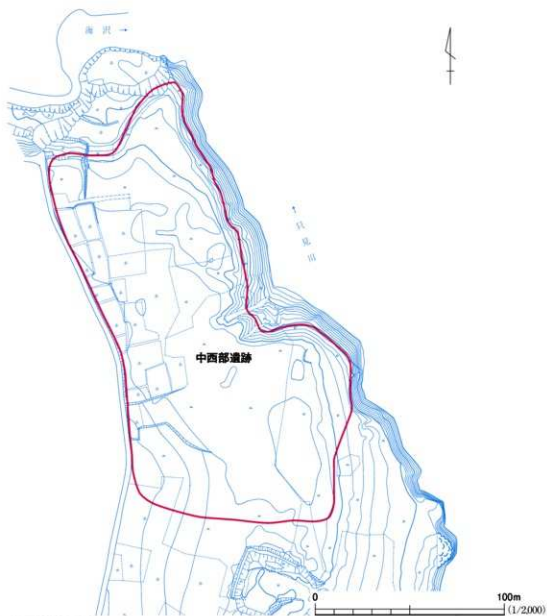


図36 中西部遺跡の範囲
登録面積は20,000㎡である。

参考文献

- 福島県教育委員会2014 『福島県内遺跡分布調査報告21』
- 福島県教育委員会2016 『福島県内遺跡分布調査報告23』
- 福島県教育委員会2018 『福島県内遺跡分布調査報告25』
- 福島県教育委員会2019 『福島県内遺跡分布調査報告26』
- 福島県教育委員会2020 『福島県内遺跡分布調査報告27』
- 福島県教育委員会2022 『福島県内遺跡分布調査報告28』

報告書抄録

ふりがな	ふくしまけんないせきぶんぶようさほうこく29							
書名	福島県内遺跡分布調査報告29							
シリーズ名	福島県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第560集							
編著者名	福島県教育庁文化財課：善田克史 藤田有希 公益財団法人福島県文化振興財団：國井寿紀							
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111							
発行年月日	2022年11月18日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯*1	東経*1	発掘期間	発掘面積*2 ㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
IWK-B5	福島県いわき市活野町古跡	07204	なし	36°56'17"	140°48'27"	20210419～20210423	2,200	試掘調査
IWK-B6	福島県いわき市活野町	07204	なし	36°56'17"	140°48'25"	20210419～20210423	1,200	試掘調査
IWK-B7 (活野町大野道跡)	福島県いわき市活野町	07204	01485	36°56'18"	140°48'21"	20210419～20210423	500	試掘調査
KY-B4 (高根沢町跡)	福島県大沼郡桑田町大字横田 字高根沢	07445	00029	37°23'51"	139°27'24"	20210526～20210602	6,900	試掘・確認調査
KY-B7 (中西部道跡)	福島県大沼郡桑田町大字大塩 字中西部	07445	00044	37°24'25"	139°28'11"	20210513～20210528	21,600	試掘調査
SM-KR-B1	福島県相馬市王野字平野	07209	なし	37°46'00"	140°42'10"	20210624～20210625	665	試掘調査
IT-KR-B1	福島県相馬郡飯坂町衣笠字産 堀	07564	なし	37°43'53"	140°42'20"	20210622～20210622	200	試掘調査
KM-KR-B1	福島県伊達郡川俣町小瀬字 東野高畑	07308	なし	37°38'41"	140°38'51"	20210701～20210701	170	試掘調査
KM-KR-B2	福島県伊達郡川俣町山本町字 沼大田田山	07308	なし	37°36'35"	140°37'52"	20210629～20210629	130	試掘調査
井戸神沢道跡	福島県双葉郡大沼町野上字道 の神	07545	00126	37°24'48"	140°55'28"	20210706～20210707	850	確認調査
特記 事項	<p>主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)建設予定地内(いわき市)のIWK-B7で試掘調査を実施したところ、中世の遺構・遺物を確認したため、活野町大野道跡として新規登録し、建設予定地内の250㎡を保存を要する範囲とした。</p> <p>また、只見川河川整備事業予定地のKY-B7で試掘調査を実施したところ、縄文-弥生時代の遺構・遺物を確認したため、中西部道跡として新規登録し、予定地内の12,000㎡を保存を要する範囲とした。</p>							
要項	<p>福島県教育委員会が令和3年度に実施した、主要地方道いわき上三坂小野線(小名浜道路)・只見川河川整備事業・丸森いわき幹線・国道288号整備事業予定地内の周辺の埋蔵文化財包蔵地及び埋蔵文化財包蔵指定地を対象とする試掘・確認調査、並びに一般河川松川結成地河川改修事業・東北自動車道福川橋床取替工事・阿武隈川上流大規模災害関連(遊水池)・(仮称)大湯山規模発電事業・地域高規格道路(会津縦貫南道路)の分布調査の報告書である。</p> <p>4事業の計34,415㎡を対象とした試掘・確認調査の結果、埋蔵文化財包蔵指定地2箇所合計面積12,300㎡について保存が必要と判断した(表1～4参照)。</p>							

*1 経緯度数は世界測地系(平成14年4月1日から適用による)。 *2 トレンチ掘削面積を示す。

福島県文化財調査報告書第560集

福島県内遺跡分布調査報告 29

令和4年11月18日発行

発行 福島県教育委員会

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

印刷 株式会社山川印刷所

〒960-2153 福島市庄野字清水尻1-10

2022